

平成 29年 09月 04日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書
【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

未来創造住宅2

グループの名称

みらいえネットワーク

直近採択グループ番号

04-0396-0636

(グループ代表者)

代表者名

西脇 貴之

代表者印

代表者所属先

通商株式会社 山口支店

代表者所在地

山口県宇部市南浜町1丁目6-8

代表者電話番号

08-3631-8111

(グループ事務局)

事務局事業者名

通商株式会社

事務局担当者名

山田 弘一

印

事務局郵便番号

530-6129

事務局所在地

大阪府大阪市北区中之島中之島ダイビル

事務局電話番号

06-7711-6010

事務局FAX

06-6448-5618

事務局担当者E-mail

yamadak@tsusho.co.jp

B. 平成29年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		5	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	3	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		3	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	1	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸					
	長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		3	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		1	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸					
	高度省エネ型 (認定低炭素住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		3	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		1	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸					
	高度省エネ型 (性能向上計画認定住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		1	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		1	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	1	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸					
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	申請が確実(上限150万円)		0	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸						
	申請が未確定(上限150万円)		0	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸						
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数	申請が確実(上限165万円)		10	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	6	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸						
	申請が未確定(上限165万円)		5	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	2	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸						
C. 平成29年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確実	棟	/						
			m ²							
		申請が未確定	棟							
			m ²							
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	工事着工日確定順にて配分、該当多数の場合は抽選とする。									
E. 平成28年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)									
	当初予算	採択戸数	2	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	補正予算	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)									
	当初予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)									
	当初予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
	当初予算	採択戸数	3	戸	交付申請戸数	3	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	3	戸
	補正予算	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
優良建築物型										
当初予算	採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
当初予算	採択床面積	200	m ²	交付申請床面積	0	m ²	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	m ²	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 未来創造住宅2	(地域型住宅供給対象地域) 山口県、福岡県、佐賀県、熊本県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) みらいえネットワーク	(結成年) 2015年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0396-0636	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	寒暖差が有る地域な為、樹脂サッシ等を使用し外皮性能を上げ、断熱性能を向上させる。 夏場の日射遮蔽、通風を考慮した住宅とする。 又、周辺地域で地震が多発し、地震への関心が高くなってきている地域であるので、耐震・制震の性能向上させた住宅を提案する。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	各地域に適したデザイン等を考慮した上で、省エネルギー性を向上させる住宅を提案する。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	歴史的景観等が近隣にある場合は、その環境を考慮したデザインを重視する。	○
④①～③の背景	台風や豪雨に見舞われる事が有る地域。地震の起こりにくい地域であり、耐震や制震への関心が低い地域である。	
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	気密性能を向上させる断熱工法や室内環境向上の為の塗り壁材等の仕様を推奨する。	○
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	■ 行っていない □ 行っている → 内容: 出来る限り仕様や規格を統一し、安定供給が出来る状態を提案、採用している。	◎
①-2 使用建材の統一	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 部分的ではあるが、構成員で標準仕様化していく箇所を増加させていく。	○
①-3 標準仕様の設定	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 流通事業者間での連携をとり、建材・資材調達を共同化を実施している。	◎
②-1 建材・資材調達の共同化	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 仕様や規格の統一化を増やしていく事により、事務作業の反復回数を増やすことにより、事務作業の慣れによる合理化が進んでいる。	◎
②-2 調達事務の合理化	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: グループ勉強会を通じて情報交換を行い、生産合理化に付いても意見交換会を行っている。	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 意見交換会(勉強会)の設定、生産合理化の為の新しい商材の提案。	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない ■ ある → 内容:	◎
b.		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	□ ない ■ ある → 内容: 施工チェックリストを使用する事により、施工基準の統一を図る。	○
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	□ ない ■ ある → 内容: 施工チェックリストに準じた検査を実施する。	○
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	■ ない □ ある → 内容:	
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	□ ない ■ ある → 内容: 信頼性向上に向け、SNS、ホームページ等を利用しグループの活動状況の情報こうかいを行う。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 未来創造住宅2	(地域型住宅供給対象地域) 山口県、福岡県、佐賀県、熊本県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) みらいえネットワーク	(結成年) 2015 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0396-0636	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①	住宅履歴情報の蓄積	
①-1	内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: お施主様と住宅供給事業者の双方が建物維持管理に付いて確認出来る仕組みを推奨する。	◎
①-2	情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 「住宅履歴の図書館」等を活用する。	◎
①-3	履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅供給事業者、お施主様が共にWEB等で確認できるようにする。	◎
②	メンテナンス基準の整備	
②-1	点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 第三者機関の仕組みに対応する形で定期的に点検し、報告書を蓄積する。	◎
②-2	補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 点検時の報告等により、適時に補修の提案を施主様に行う。	○
②-3	点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 定期点検時に報告書を作成し、お施主様に補修の有無を書面にて確認頂く。	○
③	住まいの管理	
③-1	住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 勉強会は、年3回行う。	◎
③-2	DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 勉強会時に行う。	○
③-3	その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 展示会・イベント時に相談コーナーを併設し行う。	○
④	維持管理委員会等の設置 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 構成員で維持管理に関する勉強会等を行う。	○
⑤	その他の維持管理の手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 維持管理報告書等の資料を構成員で共有できる分は共有する。	○
b		
①	グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: エスクロータイプの完成保証付きシステム導入を進め、構成員でバックアップ体制をとる。	○
②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 外部機関で行う講習会等へ出席し、情報を持ち寄り勉強会を行う。	○
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。 維持管理の確実な実行に必要な資金確保のために「戸建修繕積立金」の準備を住宅所有者に啓発するとともに、住宅履歴情報サービス機関のセンターが開発運営している「戸建修繕積立金サポートシステム モリトくん」を案内、推進する。	◎

エ. グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①	未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 構成員による現場見学会を行い、知識、技術の向上を図る。	○
②-1	品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 品質管理ルールの作成し、チェックシートによるチェックを行う。	○
②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 品質管理におけるチェックシートを勉強会時等に公開する。	◎
③-1	需給計画の策定 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 高性能な住宅の広報を行い、事務局が各構成員からの情報を収集し策定する。	○
③-2	技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 定期的に技術面に関する勉強会を開催する。	○
④	③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容:	○
b		
①-1	省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 19 今年度の参加目標人数 4	◎
①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 2 今年度の参加目標人数 4	◎
②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 断熱講習の日程等を事務局等から発信し参加を促す。	◎
c		
①	新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 流通事業者からの新商品や工法等の情報を発信する。	○
②	新たな技術等の開発 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。 各勉強会で構成員を中心に行い、外部講師に参加頂き技術・知識の向上に努める。	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 未来創造住宅2	(地域型住宅供給対象地域) 山口県、福岡県、佐賀県、熊本県												
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) みらいえネットワーク	(結成年) 2015年												
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0396-0636													
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。														
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与														
【平成29年度対応方針】														
a	<p>地域材利用に関する</p> <p>① 共通ルール(必須)</p> <p>地域材の利用を出来るだけ促し、産地がわかる状況を作る。</p> <p>② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)</p> <p><input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上</p> <p>③ 標準的な地域材の使用部位(必須)</p> <table border="1"> <tr> <td>主要構造材</td> <td>土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>羽柄材</td> <td>間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>板材</td> <td>壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> </table> <p>④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明</p>	主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	◎、○ 記入欄
主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
	柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
	梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
b	<p>①-1 地域材在庫把握の仕組</p> <p><input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: プレカット事業者、製材事業者等から在庫状況の情報を収集し事務局から発信する。</p> <p>①-2 地域材価格の共有の仕組</p> <p><input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 必要に応じて事務局から発信する。</p> <p>② グループ全体における地域材の需給予測</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: プレカット事業者、製材事業者等からの情報を共有出来るようにする。</p>	◎、○												
c	<p>①-1 畳の活用</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 畳によるくつろぎの提案を行い畳を活用していく。</p> <p>①-2 和瓦の活用</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p> <p>①-3 襖の活用</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p> <p>①-4 障子の活用</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 畳敷きの部屋にこだわらず、アクセント等で使用する事を推奨している。</p> <p>②-1 その他地域の伝統的な素材の活用</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 室内環境、調湿効果等を考慮し天然素材の塗り壁等を推奨する。</p> <p>②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 各地域の伝統的な意匠を出来る限り活用するよう提案を行う。</p>	◎、○												
d	<p>① 地域の伝統的なデザインを継承する取組</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 伝統的なデザインを部分的に取り入れる事を推奨する。</p> <p>② 地域の住まい方の継承につながる取組</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 地域の住まい方の情報を集めSNS等を使用し情報発信する。</p> <p>③ 地域の街並み形成へ寄与する取組</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 街並みの景観を考慮した設計を提案する。</p> <p>④ 和の住まいの要素を取入れた取組</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 畳や障子、塗り壁等を活用する。</p>	◎、○												
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。														
カ. その他														
【平成29年度対応方針】														
東日本大震災の復興に資する取組	震災復興に寄与する商品の購入、イベントへの参加を推奨する。	◎、○ 記入欄												
平成28年熊本地震の復興に資する取組	熊本エリアは地域型住宅の供給対象地域になっている。復興に関する協力要請には出来る限り応じるようにする。													

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 未来創造住宅2	(地域型住宅供給対象地域) 山口県、福岡県、佐賀県、熊本県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) みらいえネットワーク	(結成年) 2015年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0396-0636	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

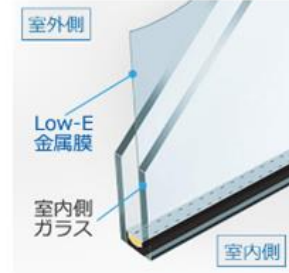
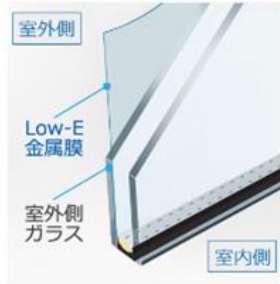
※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロエネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

高度省エネ型

【認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロエネルギー住宅に付いて】

当グループでは外皮性能UPに付いて重視し、樹脂サッシの採用を基本仕様とする。
断熱材においては、気密性能UPも考え、現場発泡硬質ウレタンフォームの吹付けを推奨する。



※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。